

# 25 journal

society&business Tokyo25 journal  
執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

## 島田理事長「世界との友好育みたい」



キルギス国歌の斉唱で歓迎した6年生とキルギスの皆さん

初等学校から高校まで運営する菅生学園(あきる野市菅生)を6月10日、中央アジアのキルギス共和国の教育関係者が視察し、同学園の教育活動を見学した。

訪れたのは大統領府付属中学校のリスクロフ・ミエル校長をはじめ小中高一貫校校長、幼稚園園長ら17人。同学園で行う先進的な教育、日本の学校で行われている特別活動の在り方などを学ぶのが目的。

この後、初等学校の異学年交流による特別活動を参観。異年齢の子どもたちが一緒に活動する、縦割り班活動により上級生に責任感

を参観。中等部、高校の6年間で医学難

## 菅生学園 キルギス教育関係者が視察 先進的な教育学ぶ 吹奏楽部の演奏に感動

初等学校と中等部がある校舎「学びの城」で、6年生によるキルギス国歌の斉唱などで歓迎を受けた一行は早速、初等学校児童の給食や学校施設を見学した。

やリーダーシップが育ち、低学年の子を納得させるための論理的な思考を深めることで学力向上の成果が出ていることなどの報告を受けた。

関大を目指す授業に触れた。高校では吹奏楽部を中心にクラブ活動を見学。全日本吹奏楽コンクールで5年連続金賞に輝いた吹奏楽部の演奏には盛大な拍手が贈られ、涙を流す姿もあった。一行からは「吹奏楽部をキルギスに招きたい」との声も出た。

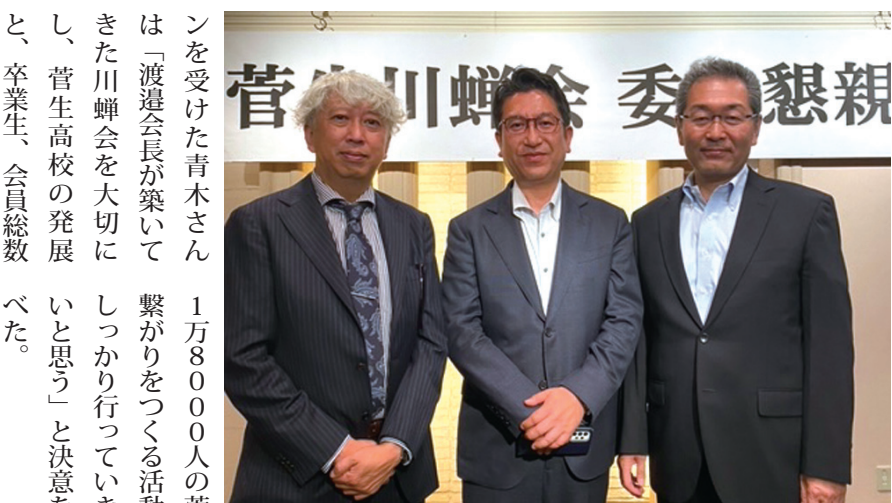
だちをつくらうという考え方があった。東欧諸国にも関係の学校があり、40年前にはモスクワ大学に野球場を寄付し、日、口、米の友好を願った。当園は今後も、世界との友好を育んでいきたいと呼びかけた。



島田理事長らを囲み委員の皆さん

東海大学菅生高校(あきる野市菅生)同窓会「菅生川蟬会」の第6回委員総会が6月22日、ホテルエミシア東京立川で行われた。総会には30人ほどが出席し、5議案を審議、2024年度の事業計画などを全会一致で決めた。役員改選が行われ、新会長に3期生の青木龍太さんが選ばれた。

## 菅生川蟬会 新会長に青木さん 初代渡邊さんからバトン



渡邊前会長、島田理事長、青木新会長(右から)

川蟬会は1期生が50歳の節目を迎えた2018年4月に発会した。発会時から1期生の渡邊弘行さんが会長を務めてきた。コロナ禍で活動が制限されることも多かったが、今年2月には約300人が集う新年交歓会が開催できた。

青木龍太さんが選ばれた。青木さんは1万8000人の菅生を繋がりをつくる活動も「渡邊会長が築いてきた川蟬会を大切にしたい」と決意を述べた。

### 痛みの組織と原因を見つけて治療

#### あきる野の波多野整骨院

「ひざの軟骨がすり減っていますね」と言われ、治療を行っているのに、良くなりません。何年もつらいひざ痛に苦しんでいる方が沢山います。

あきる野市秋川5-1-2 P4台 ※柔道整復師を募集中。詳細はご連絡を。



### ひざの痛みでお悩みの方へ

画像に現れる骨や軟骨の異常と痛みが無関係であることは非常に多いです。ひざ痛は「どの組織が痛いのか」、「どの原因によって生じているのか」によって、治し方はまったく違います。はじめから原因を明確にして、その原因に対応した治療やケア(運動療法)が行われていれば、痛みをスムーズに取り除けることが多いのです。

東京25区エリアのニュースを毎週土曜日に配信 清治、経済、社会、地域のトピックスを配信します。